



殺虫剤を使用する時の注意



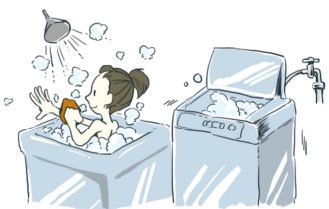
用法・用量を守り、
注意事項をよく読む



マスク、保護メガネ、
手袋を着用する



散布は風上から行う



皮膚についたら石けん
でよく洗い、汚れた衣
類は脱いで洗濯をする



使用後の散布器具
は手入れをする



小児の手の届かない場
所に置き、食品や飲料
と一緒に置かない



守って欲しいこと

⚠ 必要量だけ取り出して必ずその日のうちに使い切ってください。

⚠ 食べ物を入れる容器には絶対に薬剤を入れないでください。

⚠ 万が一、誤って薬剤を飲み込んだ場合や、体調に異変を感じたときは、直ちに作業を中止し、医師の診療を受けてください。

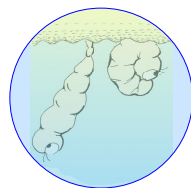
発行：日本防疫殺虫剤協会

東京都千代田区神田紺屋町46番地 松見ビル4階

TEL 03 (5296) 0300

みんなでやろう

デング熱予防は蚊の退治



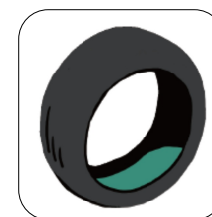
ボウフラ (幼虫) が発生しないように
水たまりをなくしましょう



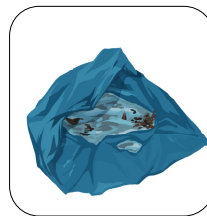
水受け皿



雨水ます



古タイヤ



シートの溜り水



下水



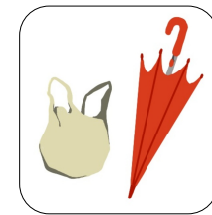
あき缶・あきビン



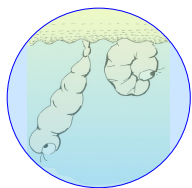
バケツ



じょうろ・玩具



ビニール類・かさ



殺虫剤を使った ボウフラ(幼虫)退治

ボウフラ退治の殺虫剤散布は2通りあります



散布のコツ

希釈した液体の殺虫剤を、スプレーやじょうろで、水のたまっている場所に散布します。水面と壁面にまきましょう。すると、成虫も同時に退治することができます。



散布のコツ

錠剤や粒剤を、さじなどですくって、水のたまっている場所に散布します。作業時に水がたまっていない場所でも、雨がたまる場所には散布しておくとい良いでしょう。

殺虫剤を使用する前に

- ◆ ヒトスジシマカ退治に使用する殺虫剤は、医薬品、または、防除用医薬部外品を使用することが、医薬品医療機器法（旧薬事法）で定められています。
- ◆ 農薬を使用することは農薬取締法の違反になり、罰せられることがあります。
- ◆ 植物によっては、殺虫剤でダメージを受けることもあるので、事前に目立たない部分で試しておくとい良いでしょう。
- ◆ 自分が蚊に刺されないように、長袖・長ズボンを着用し、肌の露出部分には虫よけ剤を塗っておきましょう。



殺虫剤を使った ヒトスジシマカ(蚊成虫)退治

液体の殺虫剤を、噴霧器でまいて退治します



散布のコツ

ヒトスジシマカは、葉っぱの裏に隠れています。作業の安全上、手の届く高さでかまいません。葉っぱの裏を濡らすように、下から上向きに殺虫剤を噴霧しましょう。

ご近所どうし声を掛け合って、なるべく一斉に広範囲で噴霧をすることで、より高い効果が期待できます。

殺虫剤の希釈手順

100倍希釈液を1000mL(1L)作るには、殺虫剤10mLと水990mLを混ぜます。

①



殺虫剤を必要な分だけ量り取る

②



希釈用のポリタンク等に移して水を注ぐ

③



フタを閉じてから振って、よく混ぜる

④



ポリタンクから噴霧器に移す